

武蔵野市の将来人口推計

(平成 30 (2018) 年～平成 60 (2048) 年)

平成 30(2018)年 10 月

武蔵野市

◇ ◇ 目 次 ◇ ◇

□本編

I. 概要	1
1. 推計対象とする人口	1
2. 留意点	1
II. 武蔵野市の人口の現状	2
1. 総人口	2
2. 性別年齢別人口	3
3. 日本人人口	4
4. 外国人人口	5
5. 町丁目別人口	5
6. 前回（平成 26（2014）年時点）の将来人口推計と実績値の推移	7
III. 人口推計の枠組	8
1. 性別年齢別日本人人口	8
(1) 性別年齢別日本人人口推計の枠組	8
(2) 全国的な「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の流れの影響	14
2. 外国人人口	14
3. 昼間人口	14
4. 町丁目別人口	15
5. 世帯数	15
IV. 推計結果	16
1. 総人口	16
(1) 総人口及び日本人人口	16
(2) 外国人人口	18
2. 日本人人口	19
(1) 年齢 3 区分別人口	19
(2) 年齢 4 区分別人口	21
(3) 5 歳階級別人口ピラミッド	22
3. その他の人口	23
(1) 昼間人口	23
(2) 町丁目別人口	24
4. 世帯	26

I. 概要

1. 推計対象とする人口

武蔵野市における図表 1-1-1 にある人口等について、基準年次を平成 30（2018）年、推計最終年次を 30 年後の平成 60（2048）年とした将来推計を実施し、図表を用いて整理・分析する。

図表 1-1-1 対象となる人口や世帯

①総人口 総人口、登録日本人人口、登録外国人人口
②日本人人口 性別年齢別（各歳階級）登録日本人人口
③その他の人口 昼間人口、町丁目別人口
④世帯 世帯数、家族類型別世帯数、高齢者世帯数

2. 留意点

武蔵野市の人口推計については長期計画の策定に際して 4 年ごとに行っているところであるが、その手法や考え方については、最新の状況を踏まえて、平成 26（2014）年度に実施された人口推計から一部において簡略化または精緻化を図っている。主な留意点は以下のとおりである。

（1）住民登録人口の数値

各年の性別年齢別日本人人口については、住民基本台帳から当時の数値を出しているが、遡及して変更されている場合があるため、当時に公表された数値とは異なることに留意が必要である。

（2）国立社会保障・人口問題研究所による将来見通しの変更

平成 27（2015）年国勢調査の結果が公表されたことで、国立社会保障・人口問題研究所が示す人口関連指標にかかる将来見通しが更新されたが、武蔵野市に係る指標についても、出生状況の見通しが上方修正されて、武蔵野市の実績値に近いことが確認された。平成 26（2014）年に実施された人口推計においては、国立社会保障・人口問題研究所の推計値は武蔵野市の直近の実績値に照らして過小であったため出生率の上振れ補正を実施したが、今回は行っていない。

（3）外国人人口の推計

外国人人口は、人口規模が小さいことに加え、人口学的要因よりも社会経済的要因による影響が大きいため、日本人人口と同様の方法での精緻な推計は困難である。そのため、性別年齢別日本人人口と外国人人口（総数）に区分してそれぞれ推計を行った。

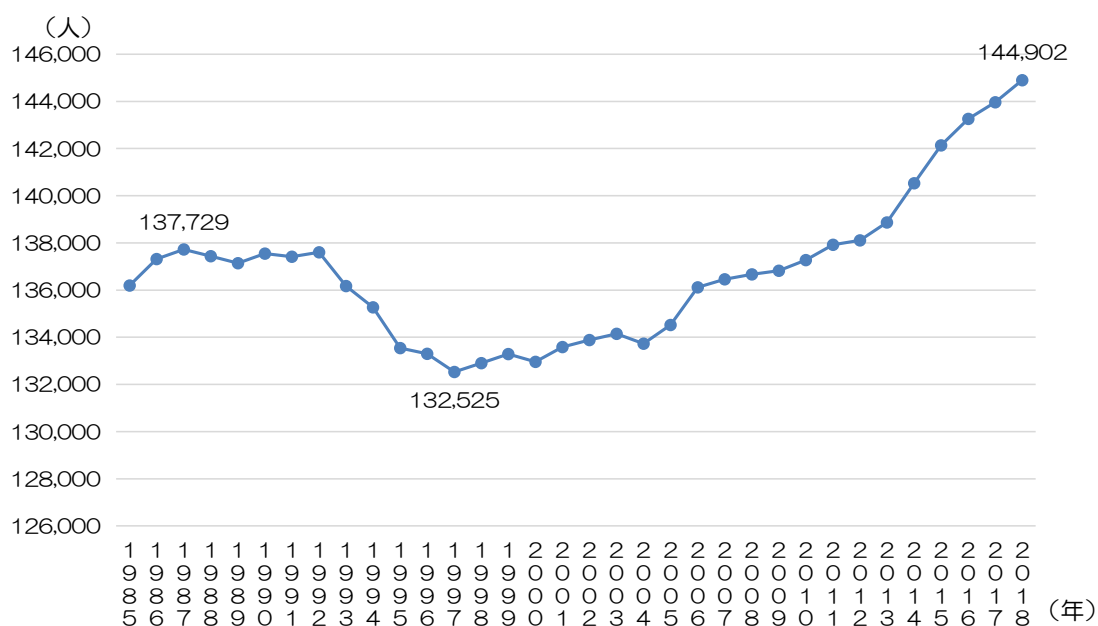
Ⅱ. 武蔵野市の人口の現状

ここでは、推計対象となる人口に関して推移を整理し、将来予想される変化を把握するために、将来推計に必要な基礎データをとりとまとめる。

1. 総人口

総人口は、昭和 62（1987）年に 137,729 人に達した後、平成 9（1997）年には 132,525 人まで減少した。その後、再度増加基調に移り、平成 30（2018）年には 144,902 人となっている。

図表 2-1-1 総人口の推移



注釈) 各年 1 月 1 日の住民基本台帳人口。ただし、平成 24（2012）年以前は住民基本台帳人口に外国人人口が含まれていないため、前年末の外国人人口を加算している。

資料) 武蔵野市資料より作成

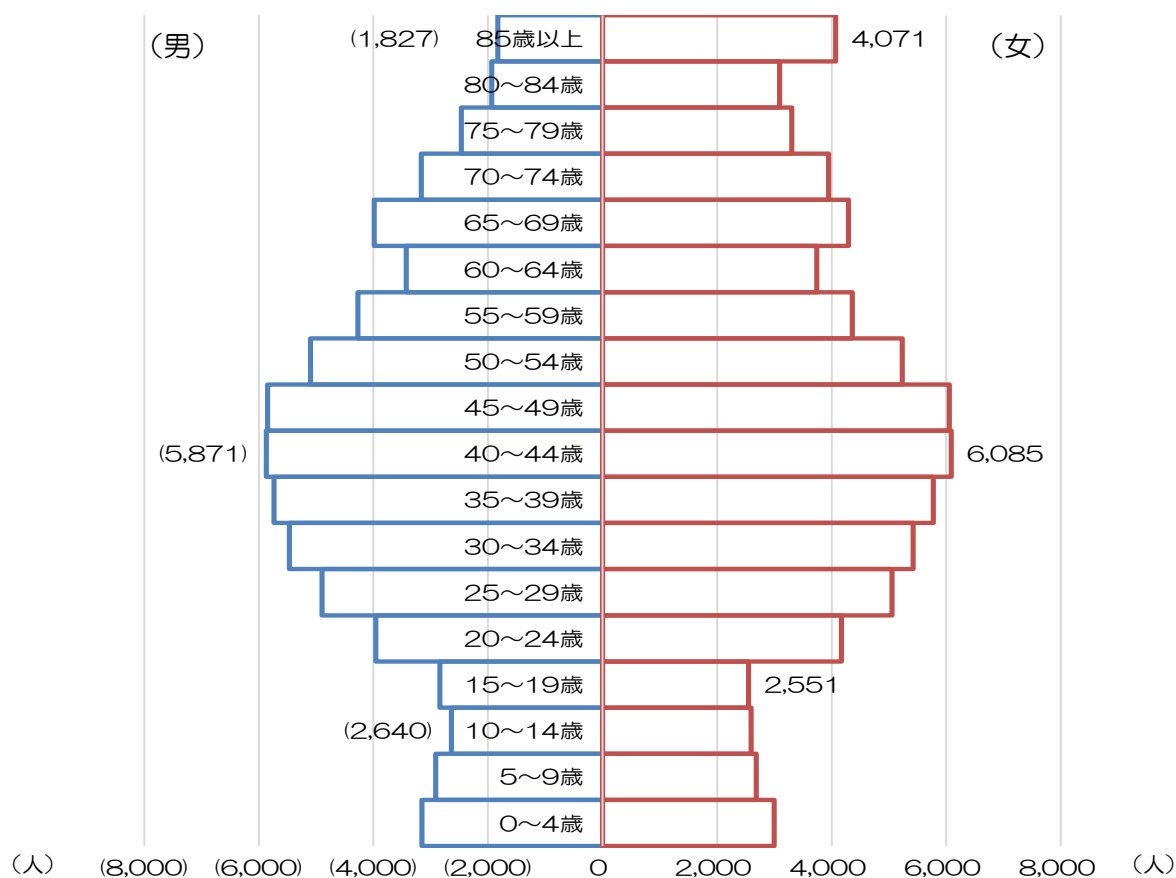
2. 性別年齢別人口

平成30（2018）年の性別年齢別人口は、男女ともに40歳代人口が多く、10歳代人口が少なくなっている。また、高齢になるほど、男性人口に対して女性人口の比率が高くなる。

60歳代後半と40歳代の部分に隆起が見られることから、第一次ベビーブーム世代（68～70歳、1947～49年生まれ）人口や第二次ベビーブーム世代（43～46歳、1971～74年生まれ）人口が多くなっている。

また、10～14歳人口に比べて5～9歳人口が多く、5～9歳人口に比べて0～4歳人口が多くなっていることから、ここ10年間ほどは出生数が上昇していると考えられる。

図表 2-2-1 5歳階級別人口ピラミッド（平成30（2018）年）



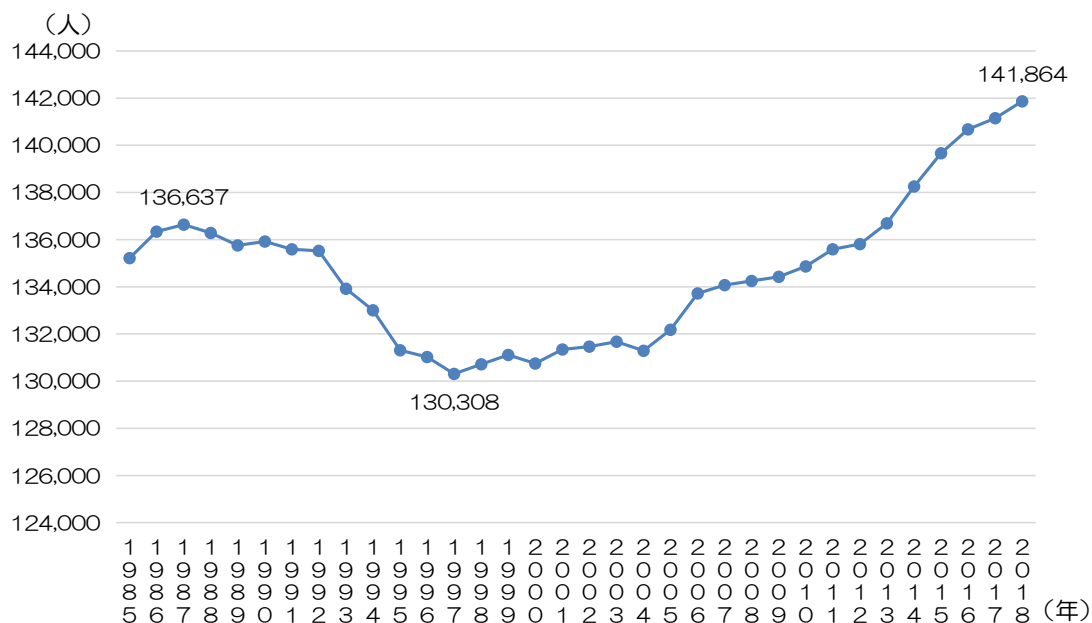
注釈) 平成30（2018）年1月1日の住民基本台帳人口。総人口。

資料) 武蔵野市資料より作成

3. 日本人人口

日本人人口は、総人口と同様の傾向で推移しており、昭和 62（1987）年に 136,637 人に達した後、平成 9（1997）年には 130,308 人まで減少した。その後、再度増加基調に移り、平成 30（2018）年には 141,864 人となっている。

図表 2-3-1 日本人人口の推移



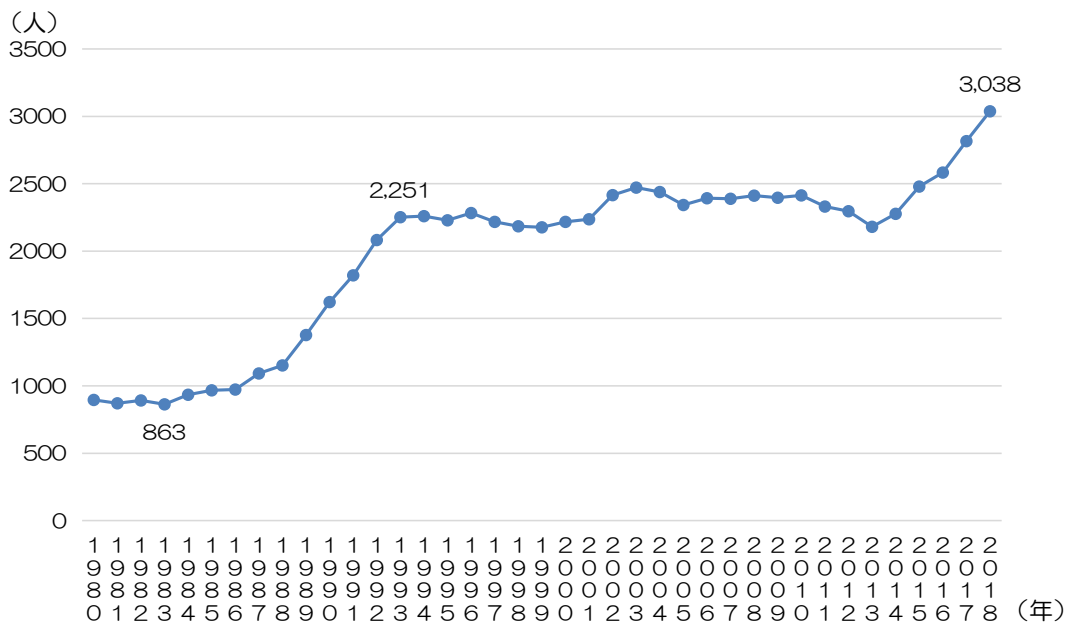
注釈) 各年 1 月 1 日の住民基本台帳人口から外国人人口を差し引いた人口。ただし、平成 24（2012）年以前の住民基本台帳人口には外国人人口が含まれていないため、住民基本台帳人口をそのまま用いている。

資料) 武蔵野市資料より作成

4. 外国人人口

外国人人口は、昭和 58（1983）年には 863 人であったが、その後増加して平成 5（1993）年には 2,251 人となった。その後、約 20 年間ほぼ横ばいで推移した後、再度増加基調に移り、平成 30（2018）年には 3,038 人となっている。

図表 2-4-1 外国人人口の推移



注釈) 各年 1 月 1 日の住民基本台帳人口。ただし、平成 24（2012）年以前は住民基本台帳人口に外国人人口が含まれていないため、前年末の外国人人口をもって表記している。

資料) 武蔵野市資料より作成

5. 町丁目別人口

町丁目別に年齢 3 区分別人口をみると、平成 30（2018）年で、年少人口比率は八幡町 2 丁目以最も高く 29.0%、吉祥寺東町 1 丁目以最も低く 6.7%となっている。同年で、生産年齢人口比率は、吉祥寺本町 2 丁目以最も高く 73.4%、緑町 2 丁目以最も低く 55.3%となっており、老年人口比率は、関前 1 丁目以最も高く 33.3%、八幡町 2 丁目以最も低く 3.7%となっている。

人口構成が特徴的な地域として、中町 1 丁目では生産年齢人口比率が高く老年人口比率が低くなっており、桜堤 2 丁目では年少人口が高く老年人口比率が低くなっている。これらはいずれも大規模マンションの開発の影響であると考えられる。また、八幡町 2 丁目では極端に老年人口比率が小さいが、これは民間企業の社宅が立地していることに起因すると考えられる。

図表 2-5-1 町丁目別年齢3区分別人口

(単位：人)	総数	年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)	
総数	144,902	16,971	11.7%	95,853	66.2%	32,078	22.1%
吉祥寺東町1丁目	3,030	204	6.7%	2,118	69.9%	708	23.4%
吉祥寺東町2丁目	4,630	384	8.3%	3,085	66.6%	1,161	25.1%
吉祥寺東町3丁目	3,631	436	12.0%	2,300	63.3%	895	24.6%
吉祥寺東町4丁目	1,596	168	10.5%	1,053	66.0%	375	23.5%
吉祥寺南町1丁目	2,326	237	10.2%	1,446	62.2%	643	27.6%
吉祥寺南町2丁目	2,792	214	7.7%	2,010	72.0%	568	20.3%
吉祥寺南町3丁目	3,733	370	9.9%	2,458	65.8%	905	24.2%
吉祥寺南町4丁目	2,981	256	8.6%	1,945	65.2%	780	26.2%
吉祥寺南町5丁目	1,648	164	10.0%	1,163	70.6%	321	19.5%
御殿山1丁目	2,234	247	11.1%	1,524	68.2%	463	20.7%
御殿山2丁目	2,019	251	12.4%	1,386	68.6%	382	18.9%
吉祥寺本町1丁目	2,041	145	7.1%	1,492	73.1%	404	19.8%
吉祥寺本町2丁目	2,670	185	6.9%	1,959	73.4%	526	19.7%
吉祥寺本町3丁目	2,946	256	8.7%	2,092	71.0%	598	20.3%
吉祥寺本町4丁目	3,894	410	10.5%	2,548	65.4%	936	24.0%
吉祥寺北町1丁目	3,793	352	9.3%	2,552	67.3%	889	23.4%
吉祥寺北町2丁目	3,217	473	14.7%	2,104	65.4%	640	19.9%
吉祥寺北町3丁目	4,117	585	14.2%	2,635	64.0%	897	21.8%
吉祥寺北町4丁目	3,428	464	13.5%	2,148	62.7%	816	23.8%
吉祥寺北町5丁目	1,786	279	15.6%	1,042	58.3%	465	26.0%
中町1丁目	3,573	394	11.0%	2,560	71.6%	619	17.3%
中町2丁目	4,303	444	10.3%	3,039	70.6%	820	19.1%
中町3丁目	5,673	638	11.2%	3,744	66.0%	1,291	22.8%
西久保1丁目	2,588	255	9.9%	1,581	61.1%	752	29.1%
西久保2丁目	4,490	490	10.9%	3,185	70.9%	815	18.2%
西久保3丁目	4,774	531	11.1%	3,214	67.3%	1,029	21.6%
緑町1丁目	2,233	328	14.7%	1,485	66.5%	420	18.8%
緑町2丁目	5,444	782	14.4%	3,011	55.3%	1,651	30.3%
緑町3丁目	715	94	13.1%	458	64.1%	163	22.8%
八幡町1丁目	1,241	194	15.6%	842	67.8%	205	16.5%
八幡町2丁目	704	204	29.0%	474	67.3%	26	3.7%
八幡町3丁目	1,428	122	8.5%	891	62.4%	415	29.1%
八幡町4丁目	982	112	11.4%	550	56.0%	320	32.6%
関前1丁目	487	46	9.4%	279	57.3%	162	33.3%
関前2丁目	2,433	310	12.7%	1,590	65.4%	533	21.9%
関前3丁目	3,143	510	16.2%	2,138	68.0%	495	15.7%
関前4丁目	1,507	151	10.0%	974	64.6%	382	25.3%
関前5丁目	1,716	171	10.0%	1,105	64.4%	440	25.6%
境1丁目	3,477	321	9.2%	2,473	71.1%	683	19.6%
境2丁目	3,747	429	11.4%	2,628	70.1%	690	18.4%
境3丁目	1,928	204	10.6%	1,284	66.6%	440	22.8%
境4丁目	1,975	288	14.6%	1,380	69.9%	307	15.5%
境5丁目	4,467	570	12.8%	2,993	67.0%	904	20.2%
境南町1丁目	2,357	301	12.8%	1,559	66.1%	497	21.1%
境南町2丁目	4,543	460	10.1%	3,086	67.9%	997	21.9%
境南町3丁目	2,578	312	12.1%	1,663	64.5%	603	23.4%
境南町4丁目	2,766	265	9.6%	1,821	65.8%	680	24.6%
境南町5丁目	2,226	243	10.9%	1,430	64.2%	553	24.8%
桜堤1丁目	2,662	350	13.1%	1,541	57.9%	771	29.0%
桜堤2丁目	5,121	1,246	24.3%	3,169	61.9%	706	13.8%
桜堤3丁目	1,109	126	11.4%	646	58.3%	337	30.4%

注釈) 平成 30 (2018) 年 1 月 1 日の住民基本台帳人口。年少人口比率、生産年齢人口比率、老年人口比率のそれぞれ上位 5 か所を濃い灰色、下位 5 か所を薄い灰色で着色している。

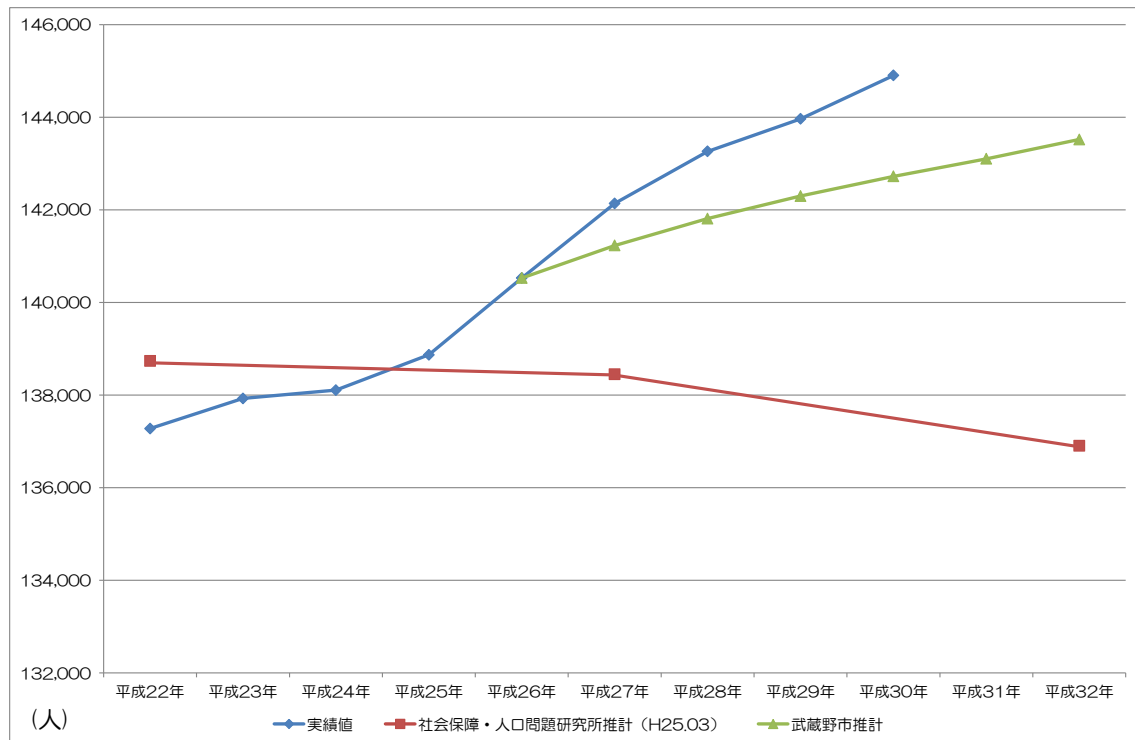
資料) 武蔵野市資料より作成

6. 前回（平成 26（2014）年時点）の将来人口推計と実績値の推移

国立社会保障・人口問題研究所では、武蔵野市の人口は緩やかな減少期にあり、継続的に減少していくという見通しを立てていた。一方で、平成 26（2014）年には、武蔵野市は独自推計によって、以降も人口は増加するという見通しを立ててきた。

その後の実績をみると、武蔵野市が立てた見通しをも上回る速度で増加しており、独自推計から 4 年間が経過した平成 30（2018）年度時点での乖離状況は、2,180 人（1.5%）の過小推計であり、当時の見通しとは異なる状況が生じている。

図表 2-6-1 前回（平成 26（2014）年時点）の将来人口推計と実績値の推移



					基準人口	推計人口						
	2010 平成22年	2011 平成23年	2012 平成24年	2013 平成25年	2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年	2017 平成29年	2018 平成30年	2019 平成31年	2020 平成32年	
社会保障・人口問題研究所 (平成25年3月)	138,734					138,446					136,903	
武蔵野市推計 (平成26年時点)					140,527	141,230	141,809	142,297	142,722	143,100	143,519	
実績値	137,275	137,926	138,106	138,868	140,527	142,138	143,262	143,964	144,902			

資料) 武蔵野市資料、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成 25 (2013) 年 3 月推計) より作成

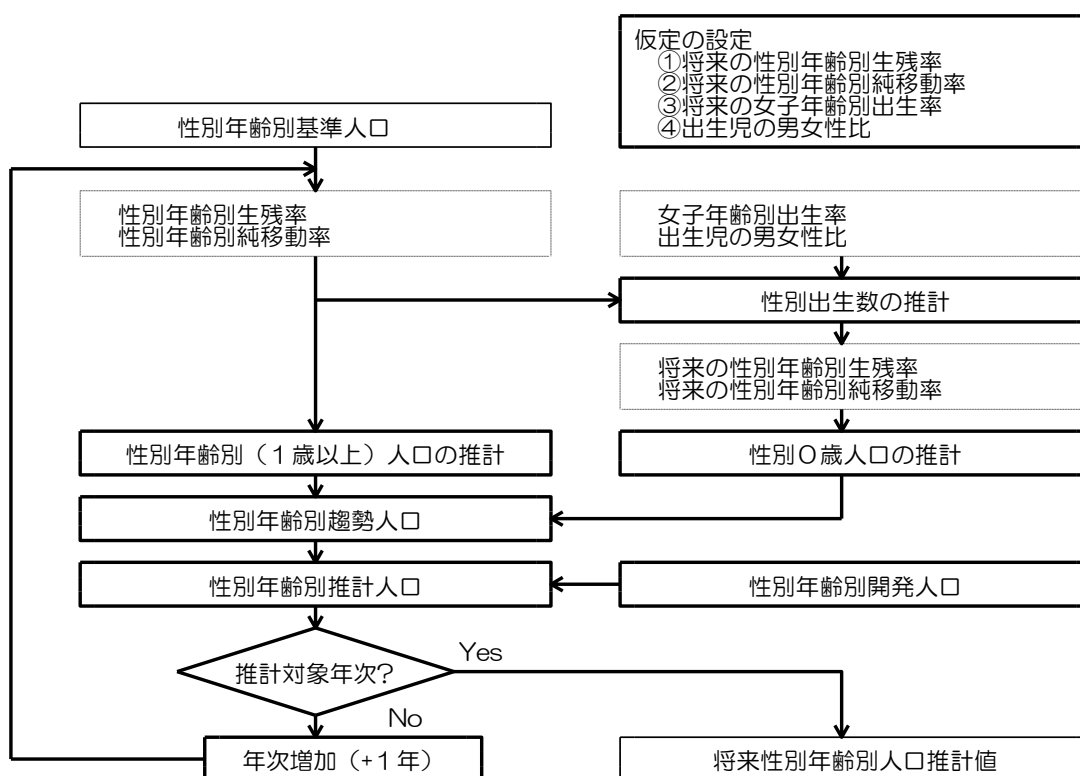
Ⅲ. 人口推計の枠組

1. 性別年齢別日本人人口

(1) 性別年齢別日本人人口推計の枠組

性別年齢別日本人人口推計の基本的枠組は趨勢推計及び開発推計とし、趨勢部分はコーホート要因法、開発部分は世帯年齢分布法を用いた。なお、85歳以上については、他の世代に比べて各歳階級人口が極端に少なくなるため、推計根拠となる各種資料でも将来設定等で同一コーホートとして扱われていること等から、本推計でもそれにならった。

図表 3-1-1 コーホート要因法による推計フロー（各歳階級の場合）



コーホート要因法による将来人口の推計にあたっては、図表 3-1-2 に示す4つの要因に関する設定が必要である。

図表 3-1-2 地域将来人口推計における設定項目

人口変動要因	設定項目
① 基準人口	基準年次、人口
② 出生	女子の年齢別出生率、出生児の性比
③ 死亡	性別年齢別生残率
④ 移動	性別年齢別純移動率

①基準人口と趨勢期間の設定

基準人口としては、住民基本台帳に基づく平成 30（2018）年 1 月 1 日現在の数値を採用した。平成 24（2012）年 7 月 9 日以降、外国人住民に係る住民基本台帳制度が導入され、いわゆる住民基本台帳人口、登録人口は、日本人と外国人の合計値となった。平成 24（2012）年以前は外国人人口の基準が 12 月 31 日であったり、性別年齢別人口が公表されていなかったりすることから、平成 25（2013）年以降をもって趨勢を設定するための期間として用いることとした。

②出生要因（女性年齢別将来出生率及び出生性比）の設定

趨勢期間のうち、東京都人口動態統計で母年齢別出生数が公表されている平成 25（2013）～28（2016）年の実績に基づいて武蔵野市の母年齢別出生率を算出した。ただし、平成 30（2018）年までの子ども女性比は実績値を用いた。出生性比は、同じ期間の実績に基づいて 107.9 と設定し、将来にわたって一定とした。

図表 3-1-3 母年齢別出生状況

母年齢	出生数					期間平均 女子人口	期間平均 出生率
	2013 平成25年	2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年	期間平均 出生数		
15-19歳	4	1	0	2	2	2,541	0.0007
20-24歳	35	31	33	30	32	3,964	0.0081
25-29歳	234	257	241	228	240	5,282	0.0454
30-34歳	527	509	535	512	521	5,887	0.0885
35-39歳	378	403	400	390	393	5,985	0.0656
40-44歳	87	93	105	112	99	6,176	0.0161
45-49歳	2	5	3	2	3	5,445	0.0006
総数	1,267	1,299	1,317	1,276	1,290	35,280	1.125
男	665	646	686	680	669	期間の合計特殊出生率 =1.125	
女	602	653	631	596	621		
出生性比	1.105	0.989	1.087	1.141	1.079		

注釈) 本調査時点での人口動態統計の最新値は平成 28（2016）年である。

資料) 東京都「人口動態統計」より作成

この現況値を基点に、将来値は社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年3月推計）」において設定された武蔵野市の将来子ども女性比から、変化率を算出し、同様に変化するように設定した。

図表 3-1-4 武蔵野市の将来子ども女性比変化率の設定

	2020年 平成32年	2025年 平成37年	2030年 平成42年	2035年 平成47年	2040年 平成52年	2045年 平成57年
社人研の設定	0.16522	0.1648	0.17008	0.17374	0.17397	0.1726
対H25-29期間変化率	0.994	0.991	1.023	1.045	1.046	1.038

資料) 東京都「人口動態統計」及び社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年3月推計）」より作成

武蔵野市の子ども女性比の実績をみても、図表 3-1-5 の期間平均 0.16775 は社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年3月推計）」において設定された平成32（2020）年の 0.16522 と近いものとなっている。

図表 3-1-5 武蔵野市の子ども女性比の推移

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	期間平均
子ども女性比	0.15363	0.16104	0.16852	0.17375	0.17450	0.17505	0.16775

資料) 武蔵野市資料より作成

以上の母年齢別出生率と将来子ども女性比の変化率から女子年齢別将来出生率を設定した。

図表 3-1-6 女子年齢別将来出生率の設定

女子年齢	2015-20 平成27-32	2020-25 平成32-37	2025-30 平成37-42	2030-35 平成42-47	2035-40 平成47-52	2040-45 平成52-57	2045- 平成57-
15-19歳	0.000698	0.000693	0.000691	0.000713	0.000729	0.000730	0.000724
20-24歳	0.008567	0.008510	0.008488	0.008760	0.008949	0.008961	0.008890
25-29歳	0.047246	0.046933	0.046814	0.048314	0.049354	0.049419	0.049030
30-34歳	0.091040	0.090437	0.090207	0.093097	0.095101	0.095226	0.094477
35-39歳	0.066968	0.066524	0.066355	0.068481	0.069955	0.070047	0.069496
40-44歳	0.016367	0.016259	0.016217	0.016737	0.017097	0.017120	0.016985
45-49歳	0.000560	0.000556	0.000555	0.000573	0.000585	0.000586	0.000581
合計特殊出生率	1.15723	1.14956	1.14664	1.18338	1.20884	1.21044	1.20091

資料) 東京都「人口動態統計」及び社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年3月推計）」より作成

③死亡要因（性別年齢別将来生残率）の設定

趨勢期間のうち、東京都人口動態統計で性別年代別の死亡者数が入手可能である平成25（2013）～28（2016）年の実績に基づいて武蔵野市の性別年齢別死亡率（生残率）を算出し、社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年3月推計）」における武蔵野市の生残率の将来変動にあわせて将来を設定した。

図表 3-1-7 性別年齢別死亡（生残）状況

男	死亡数					期間平均 人口	期間平均 死亡率	期間平均 生残率	5年 生残率
	2013 平成25年	2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年	期間平均				
総数	570	562	572	555	565	67,810	0.0083	0.9917	0.9590
0-4	0	1	4	0	1	2,998	0.0004	0.9996	0.9979
5-9	0	0	0	0	0	2,654	0.0000	1.0000	1.0000
10-14	0	0	0	0	0	2,589	0.0000	1.0000	1.0000
15-19	0	2	0	0	1	2,742	0.0002	0.9998	0.9991
20-24	3	2	1	0	2	3,832	0.0004	0.9996	0.9980
25-29	4	1	4	4	3	5,073	0.0006	0.9994	0.9968
30-34	2	2	2	0	2	5,919	0.0003	0.9997	0.9987
35-39	3	4	2	3	3	5,964	0.0005	0.9995	0.9975
40-44	7	4	6	4	5	5,932	0.0009	0.9991	0.9956
45-49	13	7	7	10	9	5,394	0.0017	0.9983	0.9915
50-54	10	9	10	18	12	4,602	0.0026	0.9974	0.9873
55-59	20	16	23	15	19	3,791	0.0049	0.9951	0.9758
60-64	26	29	26	26	27	3,871	0.0069	0.9931	0.9659
65-69	43	42	56	42	46	3,796	0.0121	0.9879	0.9412
70-74	48	73	69	56	62	2,930	0.0210	0.9790	0.8993
75-79	86	84	56	70	74	2,346	0.0315	0.9685	0.8519
80-84	91	103	103	102	100	1,880	0.0531	0.9469	0.7613
85歳以上	214	183	203	205	201	1,502	0.1340	0.8660	0.4870

女	死亡数					期間平均 人口	期間平均 死亡率	期間平均 生残率	5年 生残率
	2013 平成25年	2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年	期間平均				
総数	568	552	562	575	564	73,389	0.0077	0.9923	0.9621
0-4	1	2	2	0	1	2,797	0.0004	0.9996	0.9978
5-9	1	0	0	0	0	2,517	0.0001	0.9999	0.9995
10-14	0	0	0	0	0	2,364	0.0000	1.0000	1.0000
15-19	0	1	1	1	1	2,541	0.0003	0.9997	0.9985
20-24	0	2	1	0	1	3,964	0.0002	0.9998	0.9991
25-29	0	1	1	1	1	5,282	0.0001	0.9999	0.9993
30-34	3	5	0	1	2	5,887	0.0004	0.9996	0.9981
35-39	3	6	3	1	3	5,985	0.0005	0.9995	0.9973
40-44	8	2	5	3	5	6,176	0.0007	0.9993	0.9964
45-49	5	9	11	7	8	5,445	0.0015	0.9985	0.9927
50-54	7	7	7	12	8	4,744	0.0017	0.9983	0.9913
55-59	9	15	11	16	13	3,961	0.0032	0.9968	0.9840
60-64	19	18	11	15	16	4,042	0.0039	0.9961	0.9807
65-69	23	20	13	27	21	4,315	0.0048	0.9952	0.9762
70-74	23	25	30	24	26	3,661	0.0070	0.9930	0.9657
75-79	47	44	50	46	47	3,303	0.0142	0.9858	0.9312
80-84	85	83	83	96	87	2,971	0.0292	0.9708	0.8623
85歳以上	334	312	333	325	326	3,435	0.0949	0.9051	0.6074

注釈) 本調査時点での人口動態統計の最新値は平成 28 (2016) 年である。

資料) 東京都「人口動態統計」より作成

図表 3-1-8 将来生残率（5年）の設定

男子年齢	2015-20 平成 27-32	2020-25 平成 32-37	2025-30 平成 37-42	2030-35 平成 42-47	2035-40 平成 47-52	2040- 平成 52-
0-4歳	0.99790	0.99798	0.99804	0.99809	0.99814	0.99817
5-9歳	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000
10-14歳	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000
15-19歳	0.99907	0.99915	0.99922	0.99928	0.99933	0.99936
20-24歳	0.99795	0.99800	0.99805	0.99808	0.99810	0.99812
25-29歳	0.99669	0.99676	0.99681	0.99686	0.99690	0.99692
30-34歳	0.99870	0.99883	0.99894	0.99902	0.99909	0.99915
35-39歳	0.99743	0.99764	0.99784	0.99801	0.99815	0.99826
40-44歳	0.99550	0.99590	0.99625	0.99656	0.99682	0.99704
45-49歳	0.99129	0.99195	0.99255	0.99307	0.99351	0.99390
50-54歳	0.98710	0.98819	0.98916	0.99001	0.99077	0.99143
55-59歳	0.97557	0.97745	0.97911	0.98059	0.98190	0.98307
60-64歳	0.96561	0.96847	0.97103	0.97333	0.97540	0.97728
65-69歳	0.94063	0.94470	0.94831	0.95155	0.95450	0.95718
70-74歳	0.89884	0.90521	0.91057	0.91524	0.91934	0.92299
75-79歳	0.85163	0.86282	0.87251	0.88089	0.88819	0.89456
80-84歳	0.76064	0.77751	0.79249	0.80585	0.81778	0.82846
85歳以上	0.48515	0.49983	0.51288	0.52476	0.53558	0.54544

女子年齢	2015-20 平成 27-32	2020-25 平成 32-37	2025-30 平成 37-42	2030-35 平成 42-47	2035-40 平成 47-52	2040- 平成 52-
0-4歳	0.99775	0.99780	0.99784	0.99788	0.99791	0.99793
5-9歳	0.99950	0.99952	0.99954	0.99956	0.99957	0.99959
10-14歳	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000
15-19歳	0.99851	0.99855	0.99859	0.99862	0.99865	0.99867
20-24歳	0.99900	0.99904	0.99909	0.99913	0.99916	0.99919
25-29歳	0.99926	0.99933	0.99938	0.99943	0.99947	0.99951
30-34歳	0.99803	0.99812	0.99820	0.99826	0.99832	0.99836
35-39歳	0.99723	0.99737	0.99750	0.99761	0.99771	0.99779
40-44歳	0.99630	0.99652	0.99672	0.99690	0.99704	0.99717
45-49歳	0.99256	0.99296	0.99331	0.99361	0.99388	0.99412
50-54歳	0.99120	0.99177	0.99229	0.99275	0.99316	0.99352
55-59歳	0.98381	0.98466	0.98541	0.98607	0.98664	0.98715
60-64歳	0.98054	0.98185	0.98300	0.98402	0.98492	0.98571
65-69歳	0.97608	0.97806	0.97977	0.98125	0.98256	0.98373
70-74歳	0.96556	0.96937	0.97256	0.97527	0.97760	0.97962
75-79歳	0.93096	0.93859	0.94507	0.95063	0.95540	0.95952
80-84歳	0.86189	0.87611	0.88835	0.89902	0.90835	0.91657
85歳以上	0.60705	0.62304	0.63722	0.64997	0.66146	0.67186

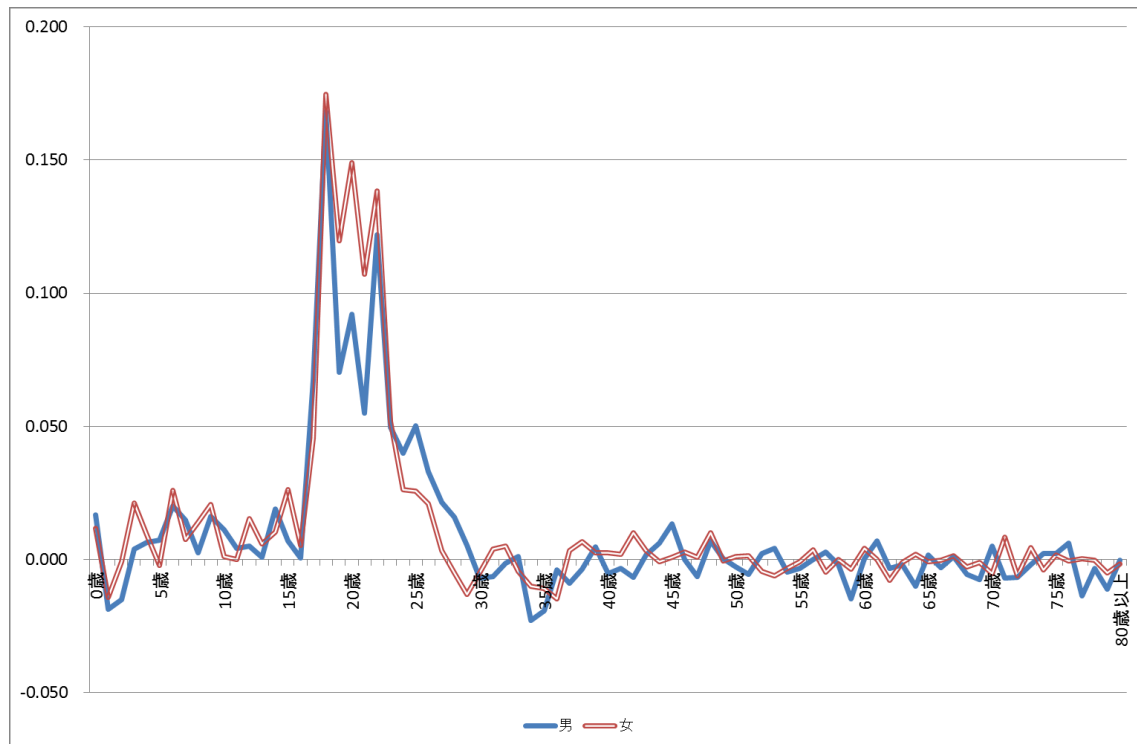
資料) 東京都「人口動態統計」及び社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年 3 月推計）」より作成

④移動要因（性別年齢別将来純移動率）の設定

純移動率については、出生と死亡の設定をふまえ、趨勢期間を対象とした人口方程式によって算出した。すなわち、実際の翌年人口と封鎖人口の差分（純移動数）と当年人口から、各年における性別年齢別純移動率を算出し、期間平均をもって推計の基本となる純移動率を設定した。

純移動率が正の値の場合は転入が転出より多いことを表し、負の値の場合は転出が多いことを表す。

図表 3-1-9 性別年齢別純移動率（平成 25（2013）年～平成 29（2017）年の期間平均）の設定



資料) 武蔵野市資料等より作成

⑤開発人口の想定

趨勢期間においては、市内では大規模開発にあたる 200 戸以上の開発は捕捉されていない。一方で、平成 30（2018）年にはプラウドシティ武蔵野三鷹（334 戸）の分譲が予定されているため、開発インパクトとして平成 31（2019）年の人口に 334 戸分（524 人）の人口を追加した。

(2) 全国的な「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の流れの影響

まち・ひと・しごと創生法に基づく、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成 29（2017）年 12 月）には下記のような記述がある。

＜基本目標②＞地方への新しいひとの流れをつくる（抜粋）

年間 47 万人の地方から東京圏（東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県）への転入者を年間 6 万人減少させ、年間 37 万人の東京圏から地方への転入者を年間 4 万人増加させる。こうした東京圏から地方への新たな「ひと」の流れづくりにより、東京圏からの転出者と、東京圏への転入者を均衡させ、東京一極集中の流れを止めることをめざす。

2020 年時点で東京圏から地方への転出・転入を均衡

→現状：2016 年 11 万 7,868 人転入超過

この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標によれば、2 年後の平成 32（2020）年には東京圏外との転出入が均衡する。しかしながら、東京圏への転入超過数は、平成 28（2016）年こそ平成 23（2011）年以来 5 年ぶりに減少したが、現状は再び若干の増加に転じており、平成 32（2020）年に転出入の均衡が実現されるとは考えにくい。

政策の効果が表れるにはまだ一定の時間がかかるものと考えられるため、今から 10 年後の平成 40（2028）年に東京圏から地方への転出・転入が均衡し、以後この状態が継続すると設定して推計する。

具体的な推計方法としては、直近の平成 29（2017）年の性別 5 歳階級別転入数で「東京圏（東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県）」の全国に占める割合を算出し、転出数でも同様に算出してその平均をとり、現在の性別年齢別純移動率は 10 年後（平成 40（2028）年）以降はその比率を乗じた値まで縮小すると設定して算出する。具体的な比率は、転入・転出の全体で全世代を平均すると約 75%となる。

当面 5 年間（平成 35（2023）年まで）は趨勢の純移動率とし、その後の 5 年間（平成 40（2028）年まで）は趨勢と 10 年後（平成 40（2028）年）以降の設定の平均とする。

2. 外国人人口

外国人人口は、人口規模が小さいことに加え、人口学的要因よりも社会経済的要因による影響が大きいため、日本人人口と同様の方法での精緻な推計は困難である。

武蔵野市の外国人人口は、10 年間の人口拡大期の後、20 年間の人口横ばい期、5 年間の人口拡大期で現在に至っていることから、あと 5 年間拡大期の後、20 年間の横ばい、5 年間拡大することを想定し、人口拡大期と人口横ばい期の成長率をそれぞれ設定した。

3. 昼間人口

昼間人口も、人口学的要因よりも社会経済的要因による影響が大きい人口であることから、数学的推計法を用いて推計する。

住民基本台帳による日本人登録人口に対する昼間人口の比率（国勢調査における昼夜間人口比率にあたる指標）の推移をみると、平成 7（1995）年までは大幅な上昇基調にあり、1.17 まで達したが、以降は横ばいから低下に転じている。そのため、同等の低下速度で推移するものとして日本人登録人口に対する昼間人口の比率の将来値を設定し、日本人登録人口に乗じるこ

とで将来値を推計した。

4. 町丁目別人口

町丁目別人口は、町丁目別性別年齢別基準人口の構成比で按分して日本人人口分について作成している。

5. 世帯数

世帯数の推計にあたっては、世帯主率法（性別年齢別人口と性別年齢別世帯主率の積和による方法）を用いた。

本推計における家族類型は、単独世帯、核家族（夫婦のみ世帯、夫婦と子世帯、ひとり親と子世帯）、その他の世帯であるが、その他の世帯は、将来世帯数から単独世帯数、核家族数を引いたものであるため、実際に算出するのは世帯数、うち単独世帯数、うち核家族数（夫婦のみ世帯、夫婦と子世帯、ひとり親と子世帯をそれぞれ）とした。また、推計対象とする高齢者世帯は、高齢者単独世帯、および世帯主が高齢者である夫婦のみ世帯とした。

各家族類型における性別年齢別世帯主率の現況値は、平成 27（2015）年国勢調査から設定する。国勢調査は調査人口であるため、年齢不詳者があることから、年齢不詳者を各年齢階級に按分した補整人口を用いて、平成 27（2015）年の世帯主率を算出した。この現況値を基点として、将来の家族類型別性別年齢別世帯主率は、社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）」（平成 26（2014）年 4 月推計）における東京都の将来世帯主率設定の変動にあわせて設定した。

IV. 推計結果

1. 総人口

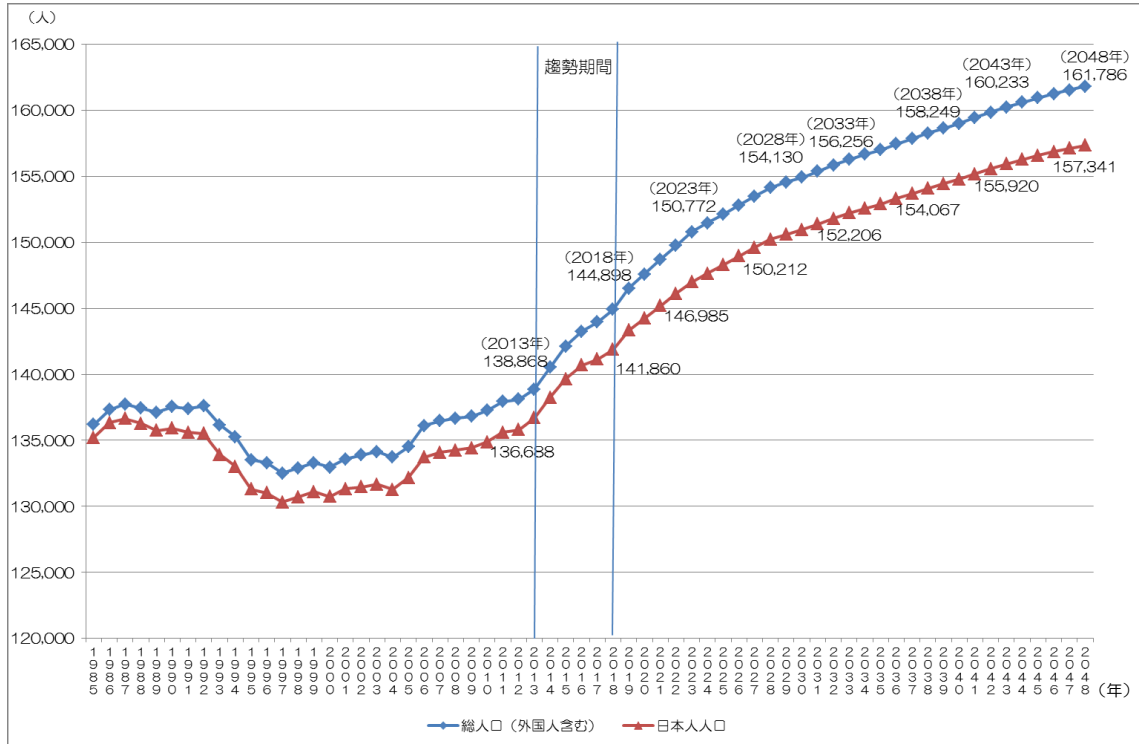
平成 30 (2018) 年推計においては、趨勢期間を平成 25 (2013) 年以降に設定し、日本人と外国人をそれぞれ推計し、その合計値をもって総人口とした。

(1) 総人口及び日本人人口

総人口は5年後の平成 35 (2023) 年には 150,772 人と 15 万人を突破し、推計最終年次の平成 60 (2048) 年で 161,786 人となると見込まれる。

また、日本人人口は、平成 30 (2018) 年の 141,860 人から、推計最終年次の平成 60 (2048) 年に 157,341 人に達すると見込まれる。

図表 4-1-1 将来人口（総人口及び日本人人口）



(人)	2018 平成30年	2019 平成31年	2020 平成32年	2021 平成33年	2022 平成34年	2023 平成35年	2024 平成36年	2025 平成37年
総人口	144,898	146,515	147,582	148,689	149,742	150,772	151,455	152,110
日本人人口	141,860	143,327	144,244	145,202	146,105	146,985	147,642	148,271
外国人人口	3,038	3,188	3,337	3,487	3,637	3,787	3,813	3,839
	2026 平成38年	2027 平成39年	2028 平成40年	2029 平成41年	2030 平成42年	2031 平成43年	2032 平成44年	2033 平成45年
総人口	152,810	153,491	154,130	154,537	154,912	155,376	155,831	156,256
日本人人口	148,945	149,599	150,212	150,593	150,941	151,379	151,807	152,206
外国人人口	3,866	3,892	3,918	3,945	3,971	3,997	4,024	4,050
	2034 平成46年	2035 平成47年	2036 平成48年	2037 平成49年	2038 平成50年	2039 平成51年	2040 平成52年	2041 平成53年
総人口	156,642	157,002	157,430	157,845	158,249	158,631	159,001	159,425
日本人人口	152,566	152,899	153,301	153,690	154,067	154,423	154,766	155,164
外国人人口	4,076	4,103	4,129	4,155	4,182	4,208	4,234	4,261
	2042 平成54年	2043 平成55年	2044 平成56年	2045 平成57年	2046 平成58年	2047 平成59年	2048 平成60年	
総人口	159,837	160,233	160,599	160,939	161,244	161,527	161,786	
日本人人口	155,550	155,920	156,259	156,573	156,852	157,109	157,341	
外国人人口	4,287	4,313	4,340	4,366	4,392	4,419	4,445	

注釈) 各年1月1日時点の住民基本台帳人口。平成30(2018)年の日本人人口については、住民基本台帳から1月1日時点の数値を出しており、遡及して変更されているため、公表された数値とは異なる。また、平成30(2018)年の総人口についても、遡及して変更された日本人人口と外国人人口の合計としていることから、公表された数値とは異なる。

資料) 武蔵野市資料等より作成

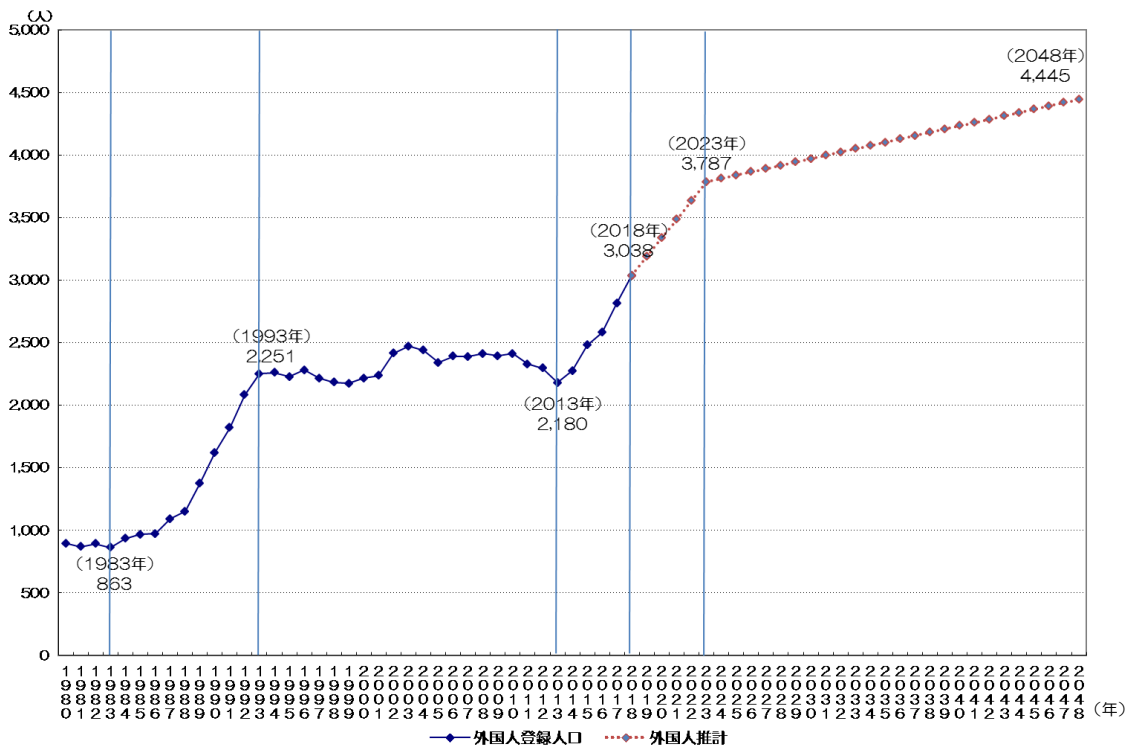
(2) 外国人人口

武蔵野市の外国人の推移については、10年間の人口拡大期の後、20年間の人口横ばい期、5年間の人口拡大期を経て、現在に至っている。

従って、今後についても、5年間の拡大期の後、20年間の横ばい、5年間の拡大という動きを予測することができる。但し、外国人人口については、影響を受ける社会経済環境について未確定な部分が多いため、平成35(2023)年までの直近5年間の拡大期の後には、推計最終年次の平成60(2048)に向かって徐々に増加すると見込む。

その結果、平成30(2018)年には3,038人であった外国人は、平成60(2048)年には4,445人になると見込まれる。

図表 4-1-2 将来人口（外国人人口）



注釈) 実績値については平成24(2012)年以前は住民基本台帳人口に外国人人口が含まれていないため、前年末の外国人人口をもって表記している。平成25(2013)年以降は住民基本台帳による外国人人口。

資料) 武蔵野市資料等より作成

※推計上の留意点

外国人人口については、その規模が数千単位と少なく、企業内転勤者をはじめとして、数年程度の滞在を前提にしている人も多いことから、推計値の誤差も非常に大きいと考えられる。また、武蔵野市でも昭和61(1986)年から平成5(1993)年にかけてや、直近5年間の急増からもわかるように、社会経済環境による影響が大きい。

当面のポイントとしては、外国人労働者の受入についての議論が再び盛り上がっているところであり、外国人受入政策が大きく変化する可能性にも留意が必要である。

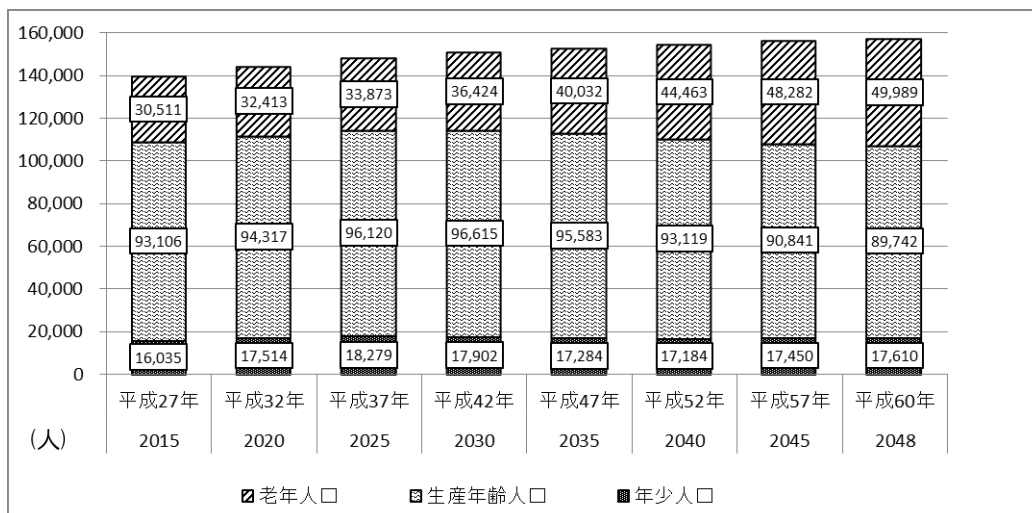
2. 日本人人口

(1) 年齢3区分別人口

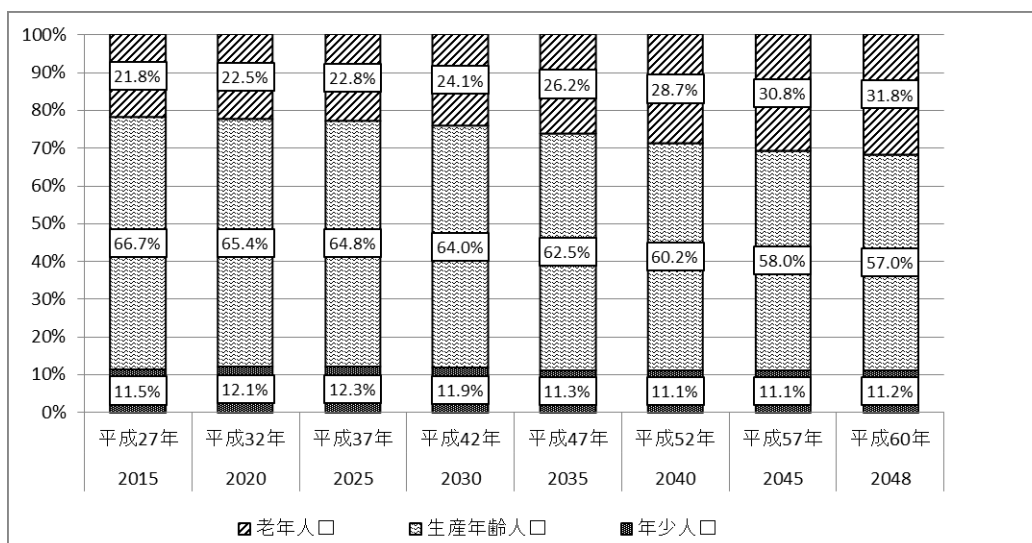
老年人口は増加傾向が続き、平成 27 (2015) 年には 30,511 人 (21.8%) の老年人口 (比率=高齢化率) は、平成 60 (2048) 年には 49,989 人 (31.8%) に達すると見込まれる。一方、年少人口は、平成 27 (2015) 年の 16,035 人 (11.5%) から、増減を経て、平成 60 (2048) 年には 17,610 人 (11.2%) になると見込まれる。また生産年齢人口は、増減を経ながらも期間全体を通じては減少傾向にあり平成 27 (2015) 年の 93,106 人 (66.7%) から、平成 60 (2048) 年には 89,742 人 (57.0%) まで低下すると見込まれる。

全国としては、平成 60 (2048) 年には、老年人口は 37.4%、生産年齢人口は 52.0%、年少人口は 10.6%になることが予測されており、これと比較すると武蔵野市における少子高齢化の度合いは相対的に低いということが予測される。

図表 4-2-1 将来年齢3区分人口



図表 4-2-2 将来年齢3区分人口比率



参考) 国立社会保障・人口問題研究所における平成 29 (2017) 年推計 (出生中位 (死亡中位)) によると、平成 60 (2048) 年には、全国としては、老年人口 37.4%、生産年齢人口 52.0%、年少人口 10.6%になる。
資料) 武蔵野市資料等より作成

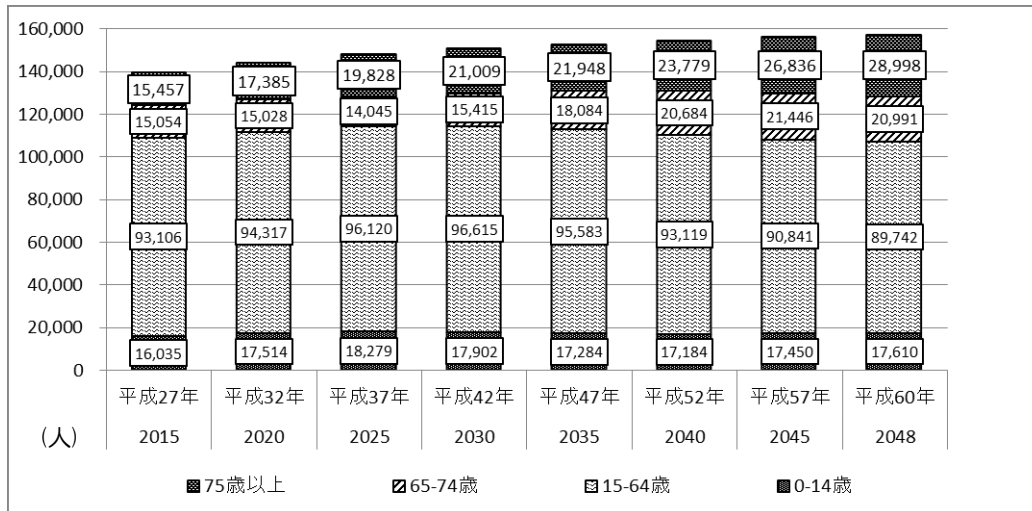
図表 4-2-3 将来年齢3区分人口・比率表

(人) (比率)	2018 平成30年	2019 平成31年	2020 平成32年	2021 平成33年	2022 平成34年	2023 平成35年	2024 平成36年	2025 平成37年
年少人口	16,816	17,227	17,514	17,755	17,952	18,089	18,146	18,279
	11.9%	12.0%	12.1%	12.2%	12.3%	12.3%	12.3%	12.3%
生産年齢人口	93,086	93,830	94,317	94,746	95,250	95,742	95,992	96,120
	65.6%	65.5%	65.4%	65.3%	65.2%	65.1%	65.0%	64.8%
老年人口	31,958	32,270	32,413	32,700	32,903	33,154	33,504	33,873
	22.5%	22.5%	22.5%	22.5%	22.5%	22.6%	22.7%	22.8%
	2026 平成38年	2027 平成39年	2028 平成40年	2029 平成41年	2030 平成42年	2031 平成43年	2032 平成44年	2033 平成45年
年少人口	18,293	18,252	18,227	18,080	17,902	17,746	17,611	17,530
	12.3%	12.2%	12.1%	12.0%	11.9%	11.7%	11.6%	11.5%
生産年齢人口	96,309	96,582	96,734	96,728	96,615	96,445	96,725	96,232
	64.7%	64.6%	64.4%	64.2%	64.0%	63.7%	63.7%	63.2%
老年人口	34,343	34,765	35,251	35,784	36,424	37,188	37,472	38,444
	23.1%	23.2%	23.5%	23.8%	24.1%	24.6%	24.7%	25.3%
	2034 平成46年	2035 平成47年	2036 平成48年	2037 平成49年	2038 平成50年	2039 平成51年	2040 平成52年	2041 平成53年
年少人口	17,394	17,284	17,230	17,199	17,184	17,176	17,184	17,208
	11.4%	11.3%	11.2%	11.2%	11.2%	11.1%	11.1%	11.1%
生産年齢人口	95,920	95,583	95,249	94,767	94,227	93,672	93,119	92,643
	62.9%	62.5%	62.1%	61.7%	61.2%	60.7%	60.2%	59.7%
老年人口	39,252	40,032	40,821	41,723	42,657	43,575	44,463	45,314
	25.7%	26.2%	26.6%	27.1%	27.7%	28.2%	28.7%	29.2%
	2042 平成54年	2043 平成55年	2044 平成56年	2045 平成57年	2046 平成58年	2047 平成59年	2048 平成60年	
年少人口	17,249	17,310	17,374	17,450	17,488	17,541	17,610	
	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.2%	11.2%	
生産年齢人口	92,189	91,783	91,279	90,841	90,451	90,080	89,742	
	59.3%	58.9%	58.4%	58.0%	57.7%	57.3%	57.0%	
老年人口	46,113	46,827	47,606	48,282	48,913	49,487	49,989	
	29.6%	30.0%	30.5%	30.8%	31.2%	31.5%	31.8%	

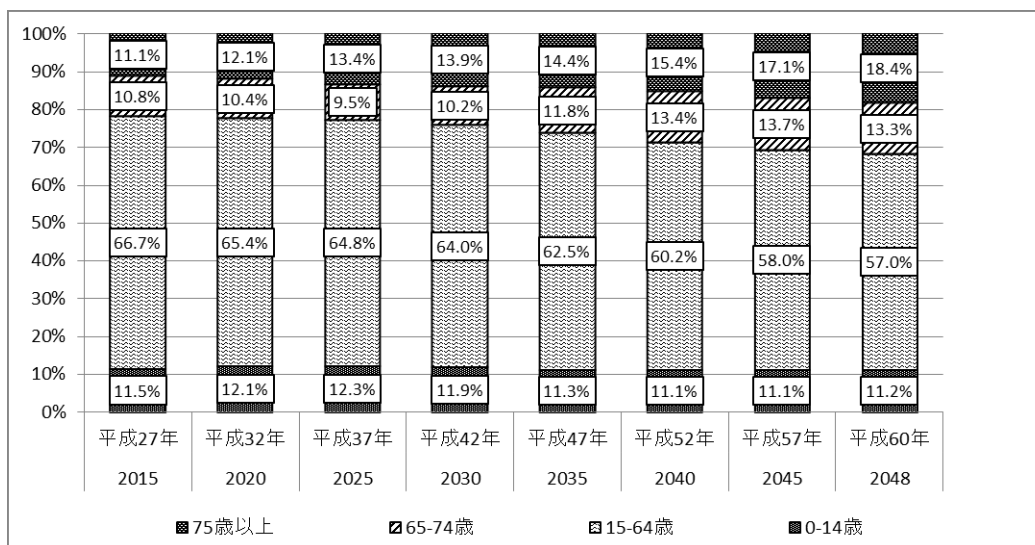
資料) 武蔵野市資料等より作成

(2) 年齢4区分別人口

図表 4-2-4 将来年齢4区分人口



図表 4-2-5 将来年齢4区分人口比率



図表 4-2-6 将来年齢4区分人口・比率表

(人) (比率)	2015 平成27年	2020 平成32年	2025 平成37年	2030 平成42年	2035 平成47年	2040 平成52年	2045 平成57年	2048 平成60年
75歳以上	15,457 11.1%	17,385 12.1%	19,828 13.4%	21,009 13.9%	21,948 14.4%	23,779 15.4%	26,836 17.1%	28,998 18.4%
65-74歳	15,054 10.8%	15,028 10.4%	14,045 9.5%	15,415 10.2%	18,084 11.8%	20,684 13.4%	21,446 13.7%	20,991 13.3%
15-64歳	93,106 66.7%	94,317 65.4%	96,120 64.8%	96,615 64.0%	95,583 62.5%	93,119 60.2%	90,841 58.0%	89,742 57.0%
0-14歳	16,035 11.5%	17,514 12.1%	18,279 12.3%	17,902 11.9%	17,284 11.3%	17,184 11.1%	17,450 11.1%	17,610 11.2%
計	139,652	144,244	148,271	150,941	152,899	154,766	156,573	157,341

参考) 国立社会保障・人口問題研究所における平成29(2017)年推計(出生中位(死亡中位))によると、平成60(2048)年には、全国としては、75歳以上22.8%、65-74歳14.6%、15-64歳52.0%、0-14歳10.6%になる。

資料) 武蔵野市資料等より作成

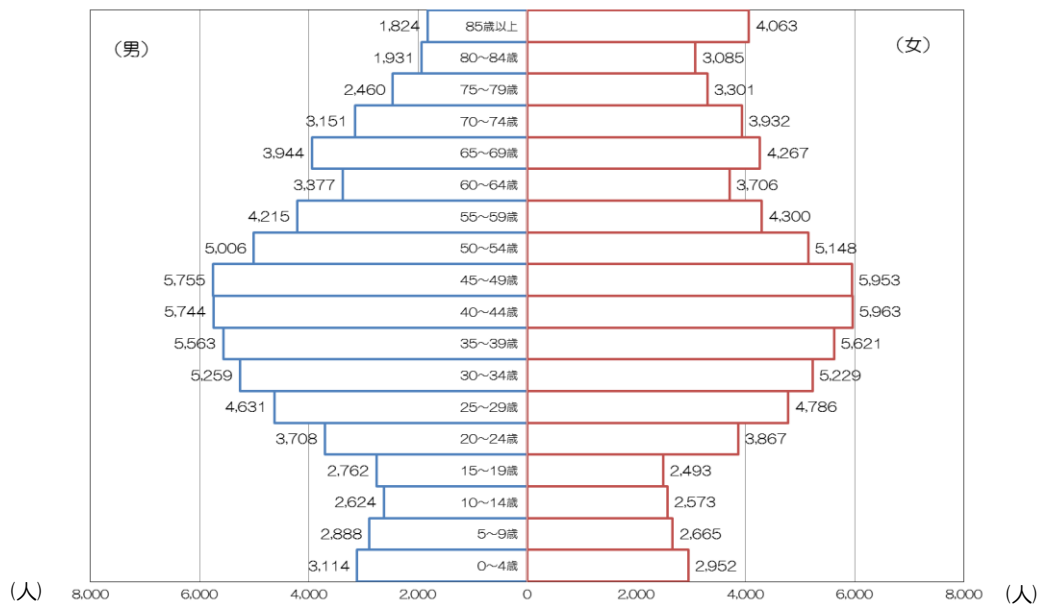
(3) 5歳階級別人口ピラミッド

平成30(2018)年時点では、男女ともに40歳代が多く、10歳代が少なくなっている。また、10～14歳に比べて5～9歳が多く、5～9歳に比べて0～4歳が多くなっており、ここ10年間ほどで出生数が上昇していると考えられる。

30年後の平成60(2048)年には、現在人口が多い世代(40歳代)に対応して70歳代の人口が多くなり、全体に高齢者の人口規模が大きくなる。

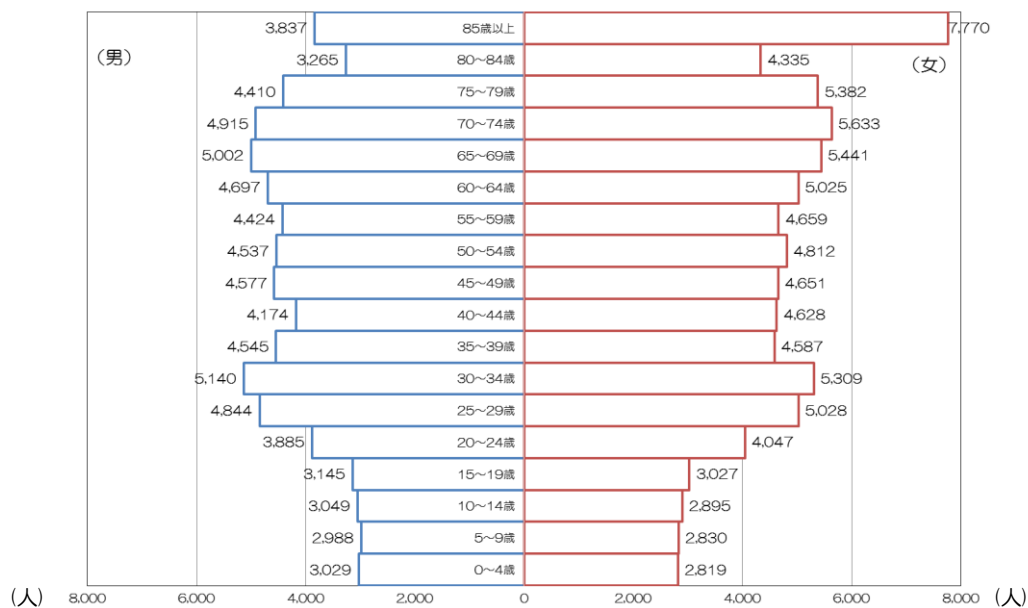
図表 4-2-7 5歳階級別人口ピラミッド

<平成30(2018)年>



注釈) 平成30(2018)年1月1日の住民基本台帳人口。日本人人口。

<平成60(2048)年>



注釈) 平成60(2048)年1月1日の推計値。日本人人口。

資料) 武蔵野市資料等より作成

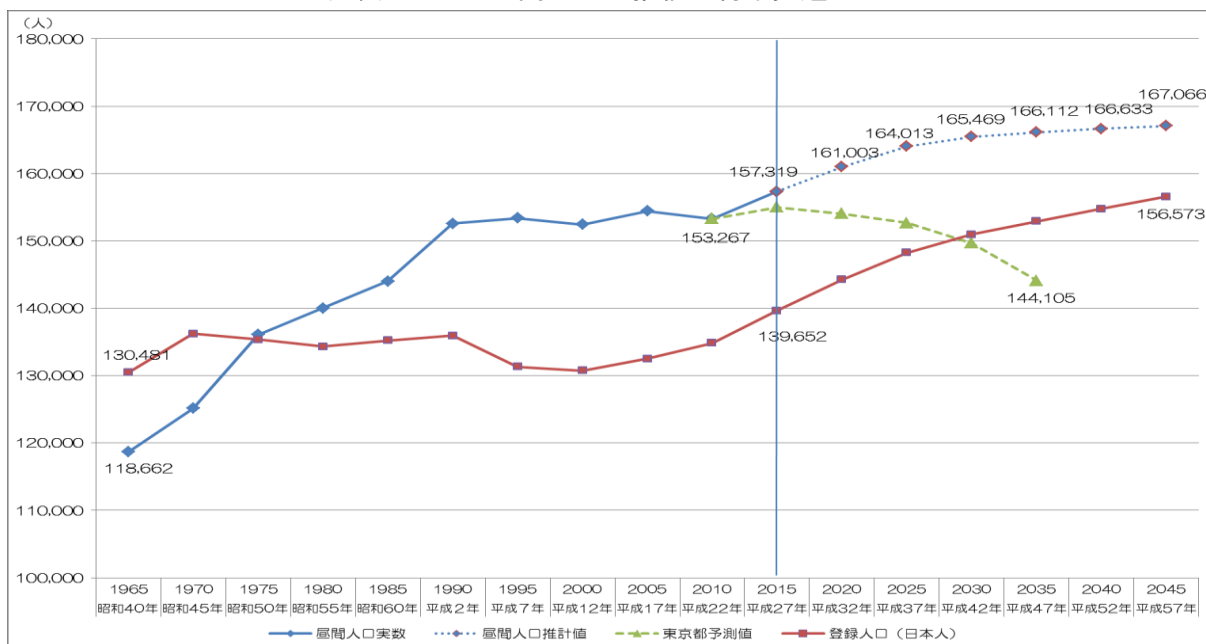
3. その他の人口

(1) 昼間人口

昭和40（1965）年の118,662人から年々増加を続け、昭和50（1975）年に住民登録人口を上回った。その後も順調に増加していたが、平成2（1990）年に152,586人に達してからは、住民登録人口が減少に転じたことから伸び止まっていたが、直近では住民登録人口が再度上昇基調となったために増加に転じ、平成27（2015）年には157,319人となった。

今後も住民登録日本人人口に対する昼間人口比は低下していくものの、住民登録日本人人口が増加することから、昼間人口は微増で推移し、平成57年（2045）年には167,066人に達すると見込まれる。

図表 4-3-1 昼間人口の推移と将来見通し



	昭和55年 1980	昭和60年 1985	平成2年 1990	平成7年 1995	平成12年 2000	平成17年 2005	平成22年 2010	平成27年 2015	平成32年 2020	平成37年 2025	平成42年 2030	平成47年 2035	平成52年 2040	平成57年 2045
昼間人口 （～2015実数、 2020～推計）	140,035	143,994	152,586	153,379	152,425	154,448	153,267	157,319	161,003	164,013	165,469	166,112	166,633	167,066
調査人口	136,910	138,783	139,077	135,051	135,746	137,525	138,734	144,730						
昼夜間人口比	1.02	1.04	1.10	1.14	1.12	1.12	1.10	1.09						
登録人口（日本人）	134,337	135,223	135,923	131,310	130,747	132,515	134,862	139,652	144,244	148,271	150,941	152,899	154,766	156,573
昼間人口／登録人口比	1.04	1.06	1.12	1.17	1.17	1.17	1.14	1.13	1.12	1.11	1.10	1.09	1.08	1.07

注釈）平成32（2020）年以降は独自推計。昼夜間人口比＝昼間人口÷調査人口。図表4-3-1の「登録人口」は各年1月1日現在の住民基本台帳人口

資料）総務省統計局「国勢調査」、「東京都昼間人口の予測（平成27年3月）」、武蔵野市資料より作成

参考）昼間人口とは、就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地による人口であり、従業地・通学地集計の結果を用いて算出された人口である。また、夜間勤務の者、夜間の学校に通っている者も便宜上昼間就業者・昼間通学者とみなして昼間人口に含めており、昼間人口には買物客などの非定常的な移動については考慮していない。（東京都ホームページ「平成27年国勢調査による東京都の昼間人口」より）

(2) 町丁目別人口

町丁目別人口は、町丁目別性別年齢別基準人口の構成比で按分して日本人人口分について作成している。

武蔵野市でも町丁目別で高齢化が進んでおり、平成 30 (2018) 年に高齢者比率が 21% を超えて超高齢社会となっているのは市内 51 地区のうち 32 地区だが、平成 60 (2048) 年では八幡町 2 丁目と桜堤 2 丁目を除き、ほぼ全町丁目で超高齢社会となっている。

図表 4-3-2 町丁目別人口の現状と将来見通し（30年後）

(人)	平成30(2018)年							平成60(2048)年						
	日本人人口	男			女			日本人人口	男			女		
		年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口		年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
総数	141,860	8,626	46,020	13,310	8,190	47,066	18,648	157,341	9,066	43,968	21,430	8,544	45,774	28,560
吉祥寺東町														
1丁目	2,964	107	1,068	296	95	989	409	3,297	112	1,022	471	100	961	630
2丁目	4,533	208	1,448	494	172	1,548	662	5,101	220	1,391	796	180	1,503	1,009
3丁目	3,557	214	1,097	390	218	1,137	502	3,990	225	1,040	634	226	1,101	764
4丁目	1,563	82	472	166	84	551	207	1,749	86	451	270	89	536	317
吉祥寺南町														
1丁目	2,280	116	675	242	119	730	399	2,599	122	639	394	123	702	618
2丁目	2,730	100	940	248	112	1,012	318	2,968	105	889	397	117	982	478
3丁目	3,655	186	1,129	381	180	1,258	521	4,102	197	1,080	619	188	1,224	795
4丁目	2,920	130	942	331	124	947	446	3,312	138	895	540	128	929	681
5丁目	1,612	96	573	138	66	557	181	1,756	102	548	221	70	539	276
御殿山														
1丁目	2,186	116	712	186	129	768	275	2,373	120	664	302	133	729	426
2丁目	1,975	121	672	159	128	674	221	2,118	125	627	244	131	651	340
吉祥寺本町														
1丁目	1,995	61	774	160	82	675	242	2,137	65	719	256	84	647	366
2丁目	2,610	103	926	205	80	976	319	2,792	107	858	327	82	933	484
3丁目	2,881	134	975	256	120	1,057	340	3,121	138	917	409	123	1,012	521
4丁目	3,813	196	1,179	364	210	1,295	568	4,266	205	1,126	597	217	1,252	869
吉祥寺北町														
1丁目	3,713	180	1,247	372	168	1,231	514	4,150	188	1,194	600	176	1,199	793
2丁目	3,150	248	1,005	241	221	1,039	397	3,484	256	961	398	229	1,004	635
3丁目	4,032	312	1,256	387	267	1,303	507	4,446	326	1,192	633	274	1,260	761
4丁目	3,359	257	1,002	342	203	1,084	471	3,778	275	961	557	215	1,046	724
5丁目	1,752	152	501	201	125	511	262	1,986	160	472	327	131	492	404
中町														
1丁目	3,493	175	1,172	247	215	1,315	370	3,698	182	1,094	390	219	1,255	556
2丁目	4,208	200	1,503	358	240	1,449	459	4,540	205	1,427	575	244	1,393	696
3丁目	5,554	320	1,790	536	312	1,846	750	6,687	382	1,877	888	374	2,000	1,165
西久保														
1丁目	2,537	123	727	322	130	808	427	2,959	127	708	516	133	816	659
2丁目	4,390	241	1,597	342	245	1,496	470	4,707	249	1,520	541	251	1,434	711
3丁目	4,672	264	1,618	411	263	1,503	614	5,097	275	1,509	649	270	1,445	949
緑町														
1丁目	2,186	176	739	170	149	703	248	2,372	185	703	268	155	688	373
2丁目	5,344	410	1,385	601	365	1,539	1,044	6,235	438	1,332	981	384	1,497	1,603
3丁目	700	51	228	61	43	217	102	789	52	221	96	45	213	161
八幡町														
1丁目	1,214	100	414	94	92	403	111	1,290	103	396	147	96	380	168
2丁目	688	109	230	10	93	230	16	672	108	213	16	92	218	25
3丁目	1,400	62	437	185	58	428	228	1,641	68	437	291	61	435	349
4丁目	964	58	274	142	53	260	177	1,148	62	271	223	55	265	272
関前														
1丁目	478	27	140	73	19	131	89	561	28	134	115	20	127	137
2丁目	2,382	163	791	236	145	753	295	2,621	168	756	375	151	726	444
3丁目	3,075	272	1,060	212	234	1,016	281	3,285	283	1,011	338	243	981	428
4丁目	1,476	74	497	173	75	449	207	1,686	78	485	280	78	445	320
5丁目	1,681	87	539	180	82	534	258	1,909	91	515	292	86	524	401
境														
1丁目	3,400	166	1,187	290	153	1,215	391	3,703	174	1,129	469	157	1,175	598
2丁目	3,665	234	1,280	295	191	1,272	392	3,960	244	1,219	474	196	1,222	605
3丁目	1,887	108	614	192	94	633	246	2,135	116	604	319	99	621	376
4丁目	1,931	140	682	135	146	658	171	2,054	145	650	222	150	628	260
5丁目	4,372	301	1,458	364	263	1,449	537	4,821	320	1,402	585	278	1,417	819
境南町														
1丁目	2,307	147	731	212	152	783	283	2,507	151	688	340	154	752	422
2丁目	4,446	240	1,374	411	216	1,623	582	4,936	249	1,325	650	225	1,595	892
3丁目	2,525	152	794	267	158	821	334	2,799	158	753	427	163	793	505
4丁目	2,708	130	906	291	133	863	387	3,046	136	874	460	138	848	590
5丁目	2,180	121	707	221	120	682	330	2,454	129	676	352	126	663	509
桜堤														
1丁目	2,612	171	733	291	175	764	478	3,031	179	696	473	179	749	754
2丁目	5,016	617	1,509	281	617	1,568	423	5,199	635	1,387	449	642	1,455	631
3丁目	1,088	66	316	148	58	311	187	1,279	71	309	236	63	311	289

資料) 武蔵野市資料より作成。平成30(2018)年の日本人人口については、住民基本台帳から1月1日時点の数値を出しており、遡及して変更されているため、公表された数値とは異なる。

4. 世帯

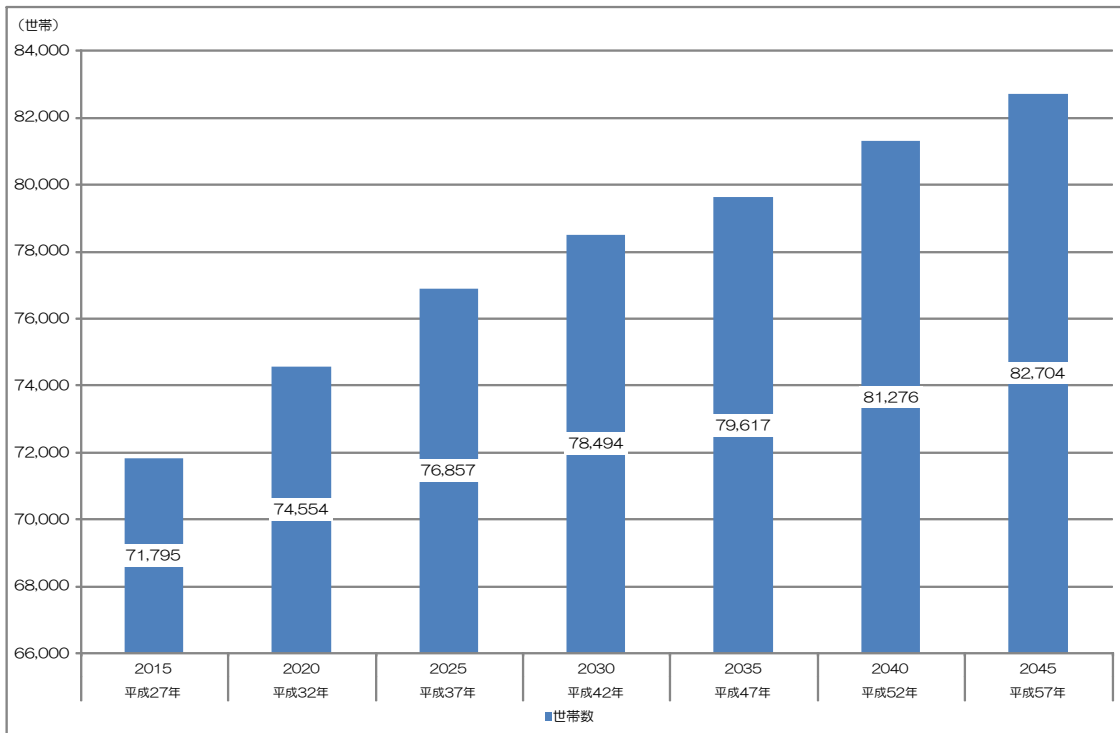
平成 27 (2015) 年国勢調査を用いて、性別年齢別の世帯主率を作成し、将来人口に乗じることで世帯数及び類型別世帯数を算出した。

国勢調査における世帯数は増加基調にあり、昭和 60 (1985) 年に 51,434 世帯だったところ、平成 27 (2015) 年には 73,960 世帯となっている。

登録日本人人口に対応した世帯数は、今後も増加を続けて、平成 27 (2015) 年の 71,795 世帯から平成 57 (2045) 年には 82,704 世帯になると見込まれる。

平均世帯人員は、平成 27 (2015) 年の 1.95 人からやや低下して平成 57 (2045) 年には 1.89 人となる。

図表 4-4-1 世帯数の推移と将来見通し



	平成27年 2015	平成32年 2020	平成37年 2025	平成42年 2030	平成47年 2035	平成52年 2040	平成57年 2045
世帯 (世帯)	71,795	74,554	76,857	78,494	79,617	81,276	82,704
平均世帯人員 (人)	1.95	1.93	1.93	1.92	1.92	1.90	1.89

注釈) 平成 27 (2015) 年は、住民基本台帳人口に対応した世帯数の推計値 (国勢調査における世帯数とは異なる)

資料) 総務省統計局「国勢調査」、武蔵野市資料より作成

家族類型別にみると、単独世帯は平成 27（2015）年に 35,386 世帯で、世帯の 49.3%を占めている。今後も数は増加するものの、当面は比率は横ばいで推移する。核家族世帯は平成 27（2015）年に 33,656 世帯で、世帯の 46.9%を占めている。平成 32（2020）年まで徐々に比率を上昇させ 47.1%に達するが、以後は数は増加するものの比率は低下傾向となる。内訳をみると、夫婦のみ世帯、ひとり親と子世帯は増加しているが、夫婦と子世帯は平成 37（2025）年を境に減少に向かう。

図表 4-4-2 家族類型別世帯数の推移と将来見通し

(単位：世帯)	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年
	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
単独世帯	35,386	36,579	37,688	38,485	39,024	39,893	40,491
	49.3%	49.1%	49.0%	49.0%	49.0%	49.1%	49.0%
核家族世帯	33,656	35,106	36,111	36,715	36,961	37,367	37,822
	46.9%	47.1%	47.0%	46.8%	46.4%	46.0%	45.7%
夫婦のみ世帯	12,219	12,717	13,137	13,579	14,002	14,591	15,156
夫婦と子世帯	16,933	17,310	17,377	17,124	16,651	16,425	16,281
ひとり親と子世帯	4,503	5,079	5,597	6,012	6,308	6,351	6,384

注釈) 平成 27（2015）年は、住民基本台帳人口に対応した世帯数の推計値（国勢調査における世帯数とは異なる）

資料) 総務省統計局「国勢調査」、武蔵野市資料より作成

なお、下表のとおり高齢者単独世帯及び世帯主が高齢者である夫婦のみ世帯の数は、継続して増加を続けると見込まれる。

図表 4-4-3 高齢者単独世帯数等の推移と将来見通し

(単位：世帯)	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年
	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
高齢者単独世帯 (単独世帯のうち)	8,421	9,256	9,905	10,866	12,128	13,389	14,504
世帯主が高齢者である 夫婦のみ世帯 (夫婦のみ世帯のうち)	5,857	6,213	6,421	6,791	7,348	8,191	8,961

注釈) 平成 27（2015）年は、住民基本台帳人口に対応した世帯数の推計値（国勢調査における世帯数とは異なる）

資料) 総務省統計局「国勢調査」、武蔵野市資料より作成